

# 第 33 回全国在日外国人教育研究集会・中九州大会ご案内

## 子どもたちの状況と私たちの課題を明らかにし、 多文化共生教育を展開しよう！

大地震、大津波そして原発災害によって地域社会そのものが崩壊していく様子を私たちは目のあたりにしてきました。行政が支援し、助けあいの輪が広がっても復興は容易ではありません。被災地の外国人や外国につながる人たちは、より深刻な困難に直面しています。被災地以外の多くの地域でも産業構造の激変によって解雇や強制配置転換などが進み、外国人が真っ先にその犠牲になっています。ある日突然学校に来なくなった、どこに行ったかわからない、こういった子どもたちが多数いるのです。

苦境に立つ外国人に更に追い打ちをかけるように、改訂入管法が本年 7 月 9 日より施行されます。従来の外国人登録証明書の代わりに外国人住民票、在留カードを発行することなどを骨子とするものです。「改訂」では在留別に「特別永住者」「中長期在留者」「非正規滞在者・難民申請者」に三分され、「非正規滞在者」にはそれらが発行されないため、職に就けないなど日本に住み続けることが著しく困難になります。およそ多文化共生の理念とは逆行する差別分断が行われることになるのです。

教育においても朝鮮高級学校は高校授業料無償化から除外されたままですし、全国で 200 名を超える公立学校の外国籍教員（期限を附さない常勤講師）の主任任用をめぐる差別問題も、日本弁護士連合会からは正勧告が出されましたが、未だ進展が見られません。九州のある市で次のような「就学案内」が外国籍の保護者に送られました。日本国籍ではないため義務教育の対象とはならないが、入学を希望する場合は期日厳守で教育委員会へ来るようにという内容です。以前より文科省は権利の観点から就学案内を送ること、在留資格のない子どもにも学校教育を受けさせるように通知して来ましたが、九州では就学案内さえも送られない地域が多く、外国人に冷たい教育行政が行われているのが実情です。

私たち全国在日外国人教育研究協議会（略称、全外教）は、在日コリアンの子どもたちへの差別撤廃のとりくみを出発点にして、在日外国人と日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践をすすめ、今年で 33 回目の全国研究集会を大分・熊本で開催します。

大分県教育委員会は一昨年「大分県在住外国人に関する学校教育指導方針」を策定し、外国にルーツをもつ子どもたちへの支援の一步を踏み出しました。それらの子らと向きあい、何とかしなければと手探りで動きはじめた人たちが各地にいます。そうした人たちを結ぶ場として本大会を成功させ、九州、沖縄はもとより、在日外国人教育、多文化共生教育の根付いていない多くの地域へ実践の輪を広げて行かなければなりません。ぜひ阿蘇、別府にお集まりいただいて経験を交流し、子どもたちの未来を語りあいましょう。

全国在日外国人教育研究集会・中九州大会へのご参加を、心よりお待ちしております。

2012 年 4 月

〔主 催〕全国在日外国人教育研究協議会

第 33 回全国在日外国人教育研究集会・中九州大会地元実行委員会

〔全国後援〕（財）朝鮮奨学会、全国キリスト教学校人権教育研究協議会、部落解放同盟中央本部、日本教職員組合、移住労働者と連帯する全国ネットワーク、フォーラム平和・人権・環境、全国在日外国人教育研究所

〔地元後援〕大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会、別府市、別府市教育委員会、部落解放同盟大分県連合会、（社）大分県人権教育研究協議会、熊本県、熊本県教育委員会、阿蘇市、阿蘇市教育委員会、菊陽町、菊陽町教育委員会、部落解放同盟熊本県連合会、熊本県人権教育研究協議会、熊本県教職員組合、菊池教職員組合、菊陽町人権教育推進協議会、熊本同歩会（順不同）

## 第 33 回全国在日外国人教育研究集会・中九州大会 開催要項

◇テーマ 子どもたちの状況と私たちの課題を明らかにし、多文化共生教育を展開しよう！

◇日程

|             |                              |       |             |       |             |       |
|-------------|------------------------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| 8 月 18 日（土） | 全外教出張講座・全国在日外国人生徒交流会（～ 19 日） |       |             |       |             |       |
| 8 月 19 日（日） |                              | 11:30 | 12:30       | 13:30 |             | 17:00 |
|             |                              | 受付    | 開会行事        |       | 全体会         |       |
| 8 月 20 日（月） |                              | 受付    | 分科会         | 昼食    | 分科会         | 閉会行事  |
|             | 9:00 9:30                    |       | 12:00 13:00 |       | 15:30 16:00 |       |

◇会 場

全外教出張講座 大南公民館（大分県大分市中戸次 4491-2 tel:097-597-0259）

全 体 会 別府市中央公民館（大分県別府市上田の湯 6-37 tel:0977-22-4118）

分 科 会 野口ふれあい交流センター（大分県別府市野口元町 12-43 tel:0977-21-2208）

生徒交流会 国立阿蘇青少年交流の家（熊本県阿蘇市一の宮町宮地 6029 tel:0967-22-0811）

◇全体会「中九州からの発信」

スライド上映 大分の朝鮮に関する遺跡、ウリ子ども会の活動

大分からの報告 高校生・大学生によるブンムル演奏と意見発表。

講演 臼杵安養寺副住職・安藤隆伸さんの講演「<sup>きょうねん</sup>慶念の『朝鮮日々記』から学ぶ」。

生徒アピール 全国在日外国人生徒交流会に参加し、2 日間にわたる交流と討議を重ねた生徒たちからの報告と意見発表。

ライブと講演 沖縄民謡唄者・沖縄語普及講師の比嘉光龍（ふいじゃパイロン）さんによる沖縄民謡の演奏と講演。

熊本からの報告 在留許可をめぐる裁判闘争から現在までの状況の報告。

◇分科会

共通課題 ◎＜多文化共生＞と＜本名（民族名）を呼び名のる＞とりくみをすすめよう  
◎＜子どもたちや教職員・地域がどう変わったか＞を明らかにしよう

### 1、異なる文化との出会い

- ① 子どもたちに異なる文化とどう出会わせたか。
- ② 在日コリアンをはじめとする外国人の歴史をどう教材化し、親の生活史をどう伝えたか。
- ③ 日本籍・ダブルの子どもにかかわるとりくみをどう進めたか。

レポート 鹿児島・中学校、佐賀・小学校、三重・小学校

### 2、本名（民族名）を呼び名のる

- ① 本名（民族名）を呼び名のる関係をどうつくったか。
- ② 在日外国人と日本人の子どもがどのような関係を結んだか。
- ③ 名前の自己決定をめぐる状況はどうなっているのか。

レポート 福岡・福岡朝文研、鹿児島・小学校、兵庫・高校

### 3、学校をひらく

- ① 自立と連帯の場をどのように保障したか。
- ② 地域や保護者・NPOをはじめとする教育支援団体とのつながりをどのように深めたか。
- ③ 民族クラブ・朝問（文）研・多文化研などがどのように活動しているか。

レポート 大阪・高校、沖縄・アメラジアンスクール・イン・オキナワ、大分・小学校

### 4、差別と排外に抗して

- ① 差別事件へのとりくみをどのようにすすめたか。
- ② 排外意識や自民族中心主義を解き放つためにどうとりくんだか。
- ③ 反差別の教育実践をどのように展開したか。

レポート 兵庫・兵庫在日朝鮮人教育を考える会、奈良・差別街宣を許さない奈良の会、京都・中学校、福岡・小学校

5、多文化共生をめざして

- ①多文化共生の教育をどのようにすすめたか。  
②新たに渡日した子どもたちの教育にどうとりくんだか。  
③自主活動や進路の保障はどのようになされているか。  
レポート 熊本・外国から来た子ども支援ネット、神奈川・高校、奈良・小学校、大分・小学校

6、未来をひらく

- ①進路をめぐる差別の実態はどのようになっているのか。  
②確かな歴史認識を培い、子どもたちの未来をどうつくるのか。

- ③専門学校・大学等ではどのようなとりくみをしているのか。  
レポート 鳥取・高校、大分・大分人権教育ワークショップ研究会、熊本・中学校

7、全国在日外国人生徒交流会

- ①名前・進路・生き方・学校・友人等、抱えている問題を出しあおう。  
②自らをとりまく現状について、明らかにしよう。  
③先輩の生き方に学び、未来について語りあおう。

◇全外教出張講座

8月18日(土)14時～

会場 大南公民館(大分県大分市中戸次4491-2)

講演「反差別・多文化共生社会へ」

講師 金井英樹(全外教副会長、大阪大谷大学・奈良県立大学兼任講師)

◇全国在日外国人生徒交流会

8月18日(土)13時現地(国立阿蘇青少年交流の家)集合、14時開会

8月19日(日)全体会場へ移動し、その後、全体会で交流会の報告をして解散

※詳細は生徒交流会担当者大塚(090-7988-1736)まで

◇参加申し込み方法

- ・下記の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、大会資料代等を振り込んでください。
- ・全体会と分科会には、当日受付での参加もできます。
- ・郵便振替での申し込みの締め切りは、8月3日(金)です。
- ・出張講座は申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

払 込 取 扱 票

|                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 00                             | 大分                            |
| 口座番号 (右話にご記入ください)              |                               |
| ※ 0 1 7 3 0 - 2 - 1 2 5 9 4 8  |                               |
| 加入者名                           | ※ 全外教中九州大会地元実行委員会             |
| 金額                             | ※ 金 額                         |
| 料金                             | ※ 料 金                         |
| 大会参加票をお送りしますので、楷書で正確に記入してください。 |                               |
| 名 前                            | 大会参加                          |
|                                | <input type="checkbox"/> 参加する |
|                                | <input type="checkbox"/> 参加する |
|                                | <input type="checkbox"/> 参加する |
| 送金内訳 大会参加費 ¥4,500× 人           |                               |
| 送金合計額 ¥                        |                               |
| 送金合計額 ¥                        |                               |
| 払込人住所氏名                        | ※ (郵便番号) (電話番号) ( )           |
| 受付局日附印                         |                               |
| 裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)       |                               |

払込票兼領収証

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 口座番号    | ※ 0 1 7 3 0 - 2 - 1 2 5 9 4 8 |
| 加入者名    | ※ 全外教中九州大会地元実行委員会             |
| 金額      | ※ 金 額                         |
| 払込人住所氏名 | ※ (消費税込) 受付局日附印               |
| 料金      | ※ 料 金                         |
| 特殊取扱    |                               |

各票の※印欄は、払込人において記載してください

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください  
切り取らないで郵便局にお出しください

◇大会・全外教出張講座の費用について

- ・大会参加（大会資料代等） ..... 4,500 円
- ・全外教出張講座 ..... 無料

◇書籍・資料の販売、展示について

書籍・資料の販売を行いますのでご活用ください。大会本部で認められた場所以外で行うことはできません。

◇その他

ビラ・署名は、大会本部の許可のないものは認められません。広告、チラシは前もって「大会要綱集」に刷り込みますので、問い合わせてください。

◇宿泊

各自で予約をお願いします。

第 33 回全国在日外国人教育研究集会・中九州大会地元実行委員会

TEL 090-3602-0372（大分・大野） TEL 090-7988-1736（熊本・大塚）

e-mail mail@zengaikyō.org

◇略地図



中央公民館

JR 別府駅西口（山手）から 700m

JR 別府駅西口⇒「公民館前」下車

8 番浜脇・観海寺線

36 番湯布院線

37 番くじゅう高原線

野口ふれあい交流センター

JR 別府駅西口（山手）から 600m

JR 別府駅東口

⇒「富士見町 4 丁目」、「富士見町 6 丁目」下車

この受領証は、郵便局で機械  
処理した場合は郵便振替の払  
込みの証拠となるものですから  
大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理  
しますので、口座番号および  
金額を記入する際は、枠内に  
丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折  
り曲げたりしないでください。

（ゆうちょ銀行）